

「平成 26 年度 兵庫県内の市町財政の状況」



(1) 経常収支比率の状況

【資料 1】 平成 26 年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況<地図>	1
【資料 2】 経常収支比率の対前年度比較	2

(2) 実質公債費比率の状況

【資料 3】 平成 26 年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図>	3
【資料 4】 実質公債費比率の対前年度比較	4

(3) 将来負担比率の状況

【資料 5】 平成 26 年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図>	5
【資料 6】 将来負担比率の対前年度比較	6

(4) 税徴収率の状況

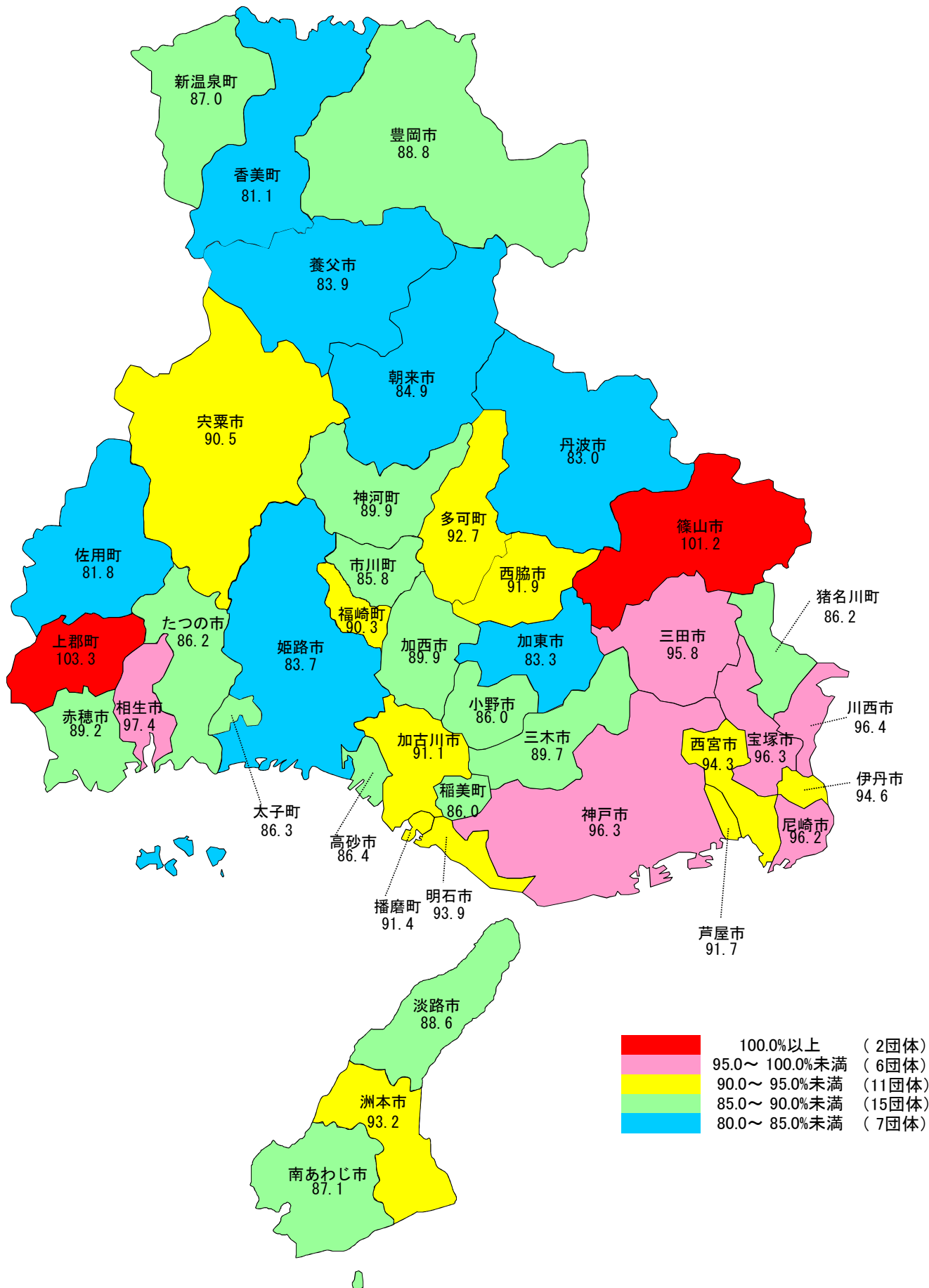
【資料 7】 平成 26 年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況	7
【資料 8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較	8
【資料 9】 平成 26 年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況	9
【資料 10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較	10
【資料 11】 特別徴収実施率の対前年度比較	11

※ 参考

【参考資料①】 平成 26 年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図>	12
【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較	13

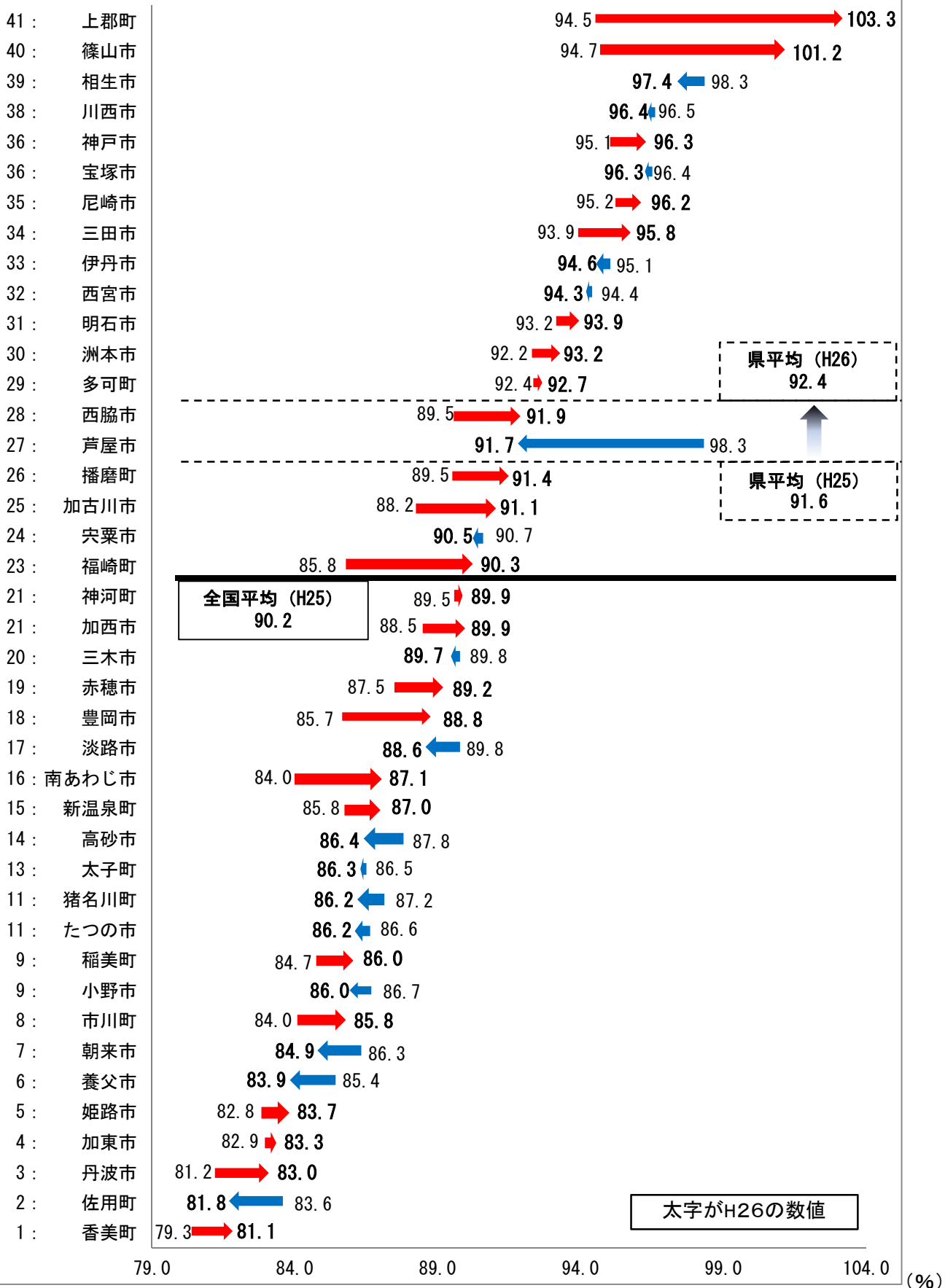
### 平成26年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況

- 平成26年度の経常収支比率の県内市町平均は92.4%。(H25全国平均は90.2%)
- 経常収支比率が最も高い団体は、市では篠山市(101.2%)、町では上郡町(103.3%)。
- 経常収支比率が最も低い団体は、市では丹波市(83.0%)、町では香美町(81.1%)。



経常収支比率の対前年度比較

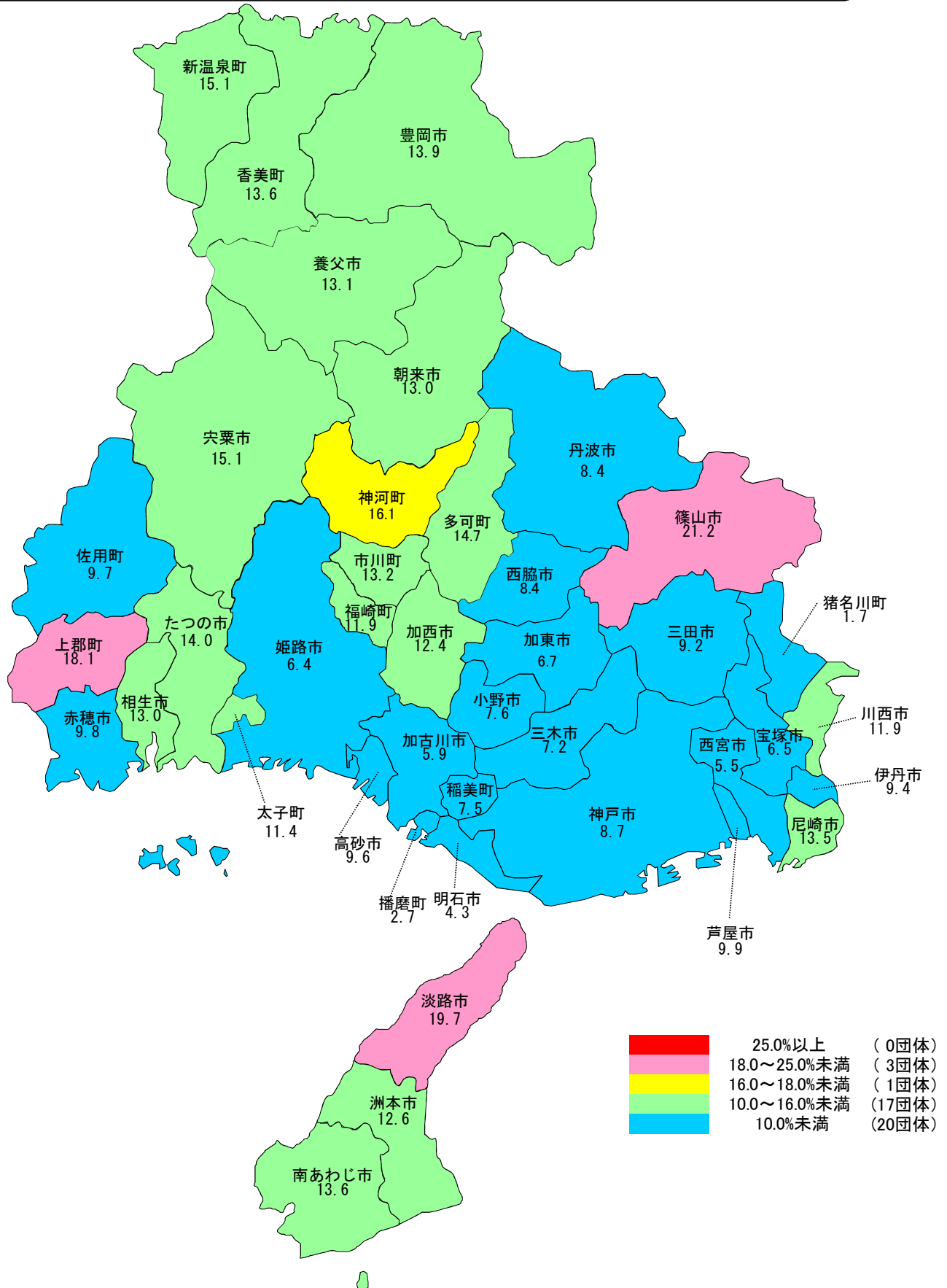
- 前年度から比率が減少したのは17団体、比率が増加したのは24団体
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲6.6%)、町では佐用町(▲1.8%)
- 最も増加したのは、市では篠山市(6.5%)、町では上郡町(8.8%)



(2) 実質公債費比率の状況

# 平成26年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況 【資料3】

○平成26年度の実質公債費比率の県内市町平均は9.3%。(H25全国平均は8.6%)  
○実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、昨年度の2団体から1団体(上郡町)増加し、篠山市(21.2%)、淡路市(19.7%)、上郡町(18.1%)の3団体となった。



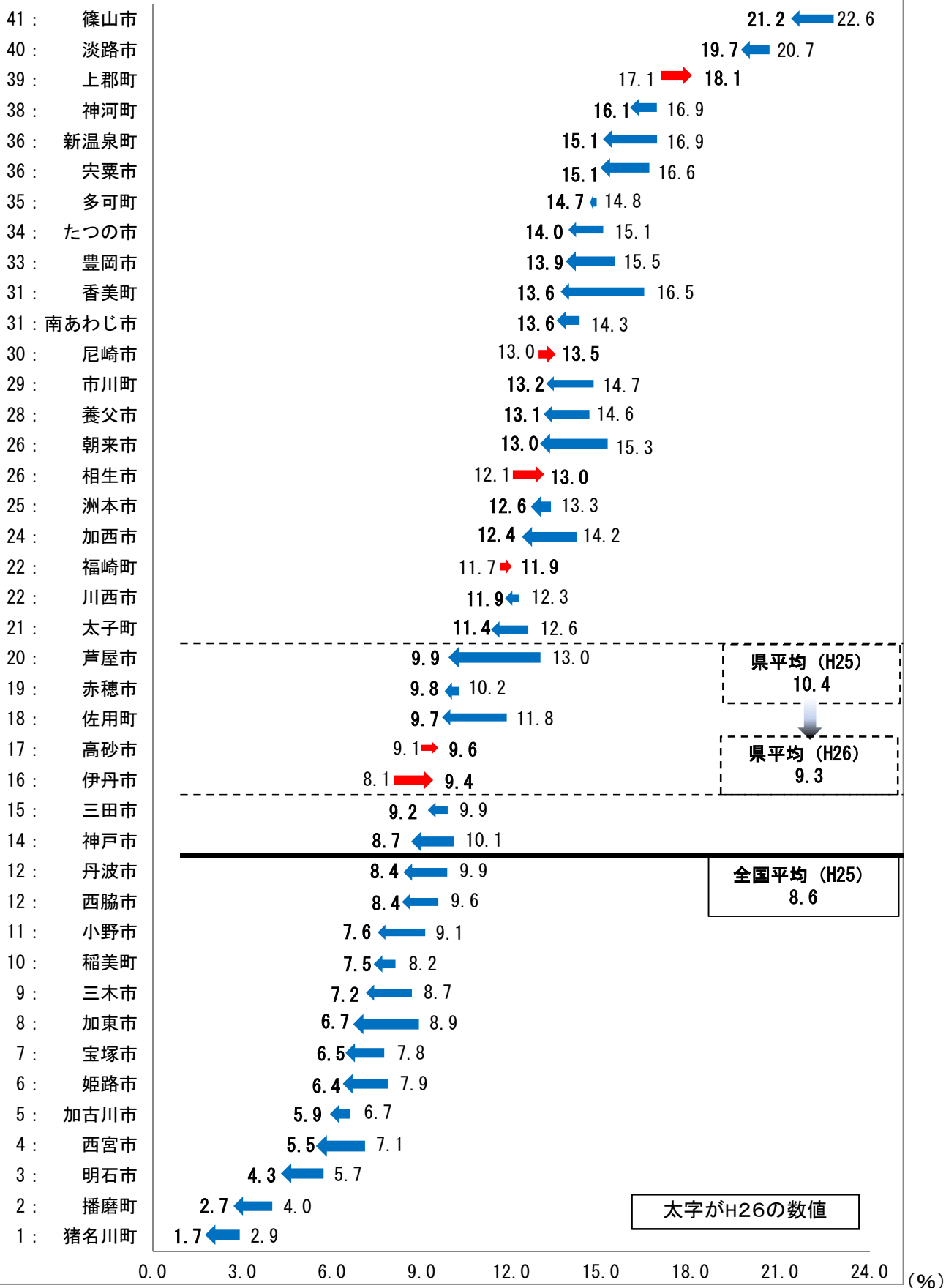
※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。

※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容及び実施状況に応じ、起債が許可される。

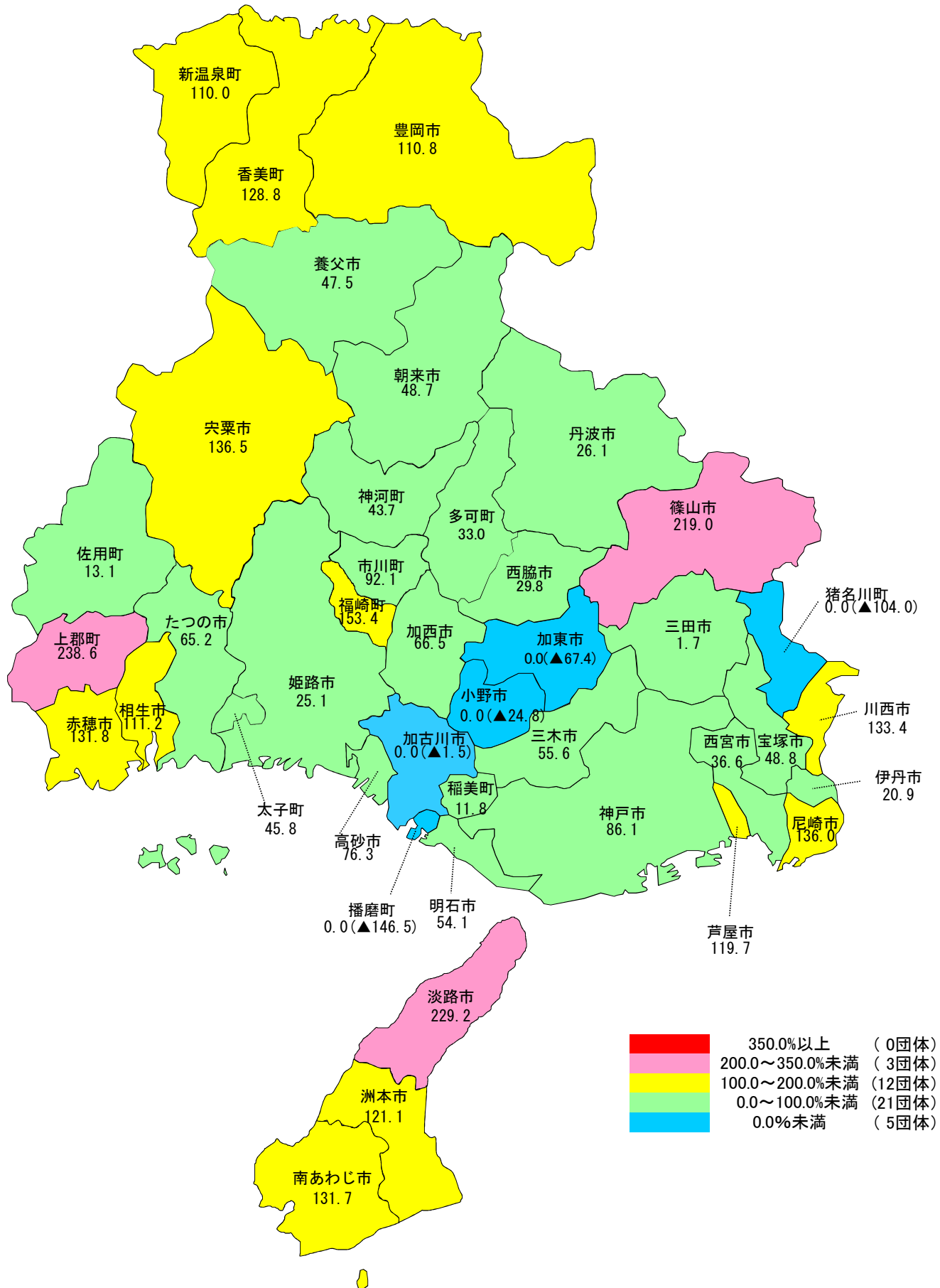
※3 実質公債費比率が16%未満(実質赤字額・連結実質赤字額が0、将来負担比率200%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

実質公債費比率の対前年度比較

- 前年度から比率が減少したのは35団体、比率が増加したのは6団体
- 最も減少したのは、市では芦屋市(▲3.1%)、町では香美町(▲2.9%)
- 最も増加したのは、市では伊丹市(1.3%)、町では上郡町(1.0%)



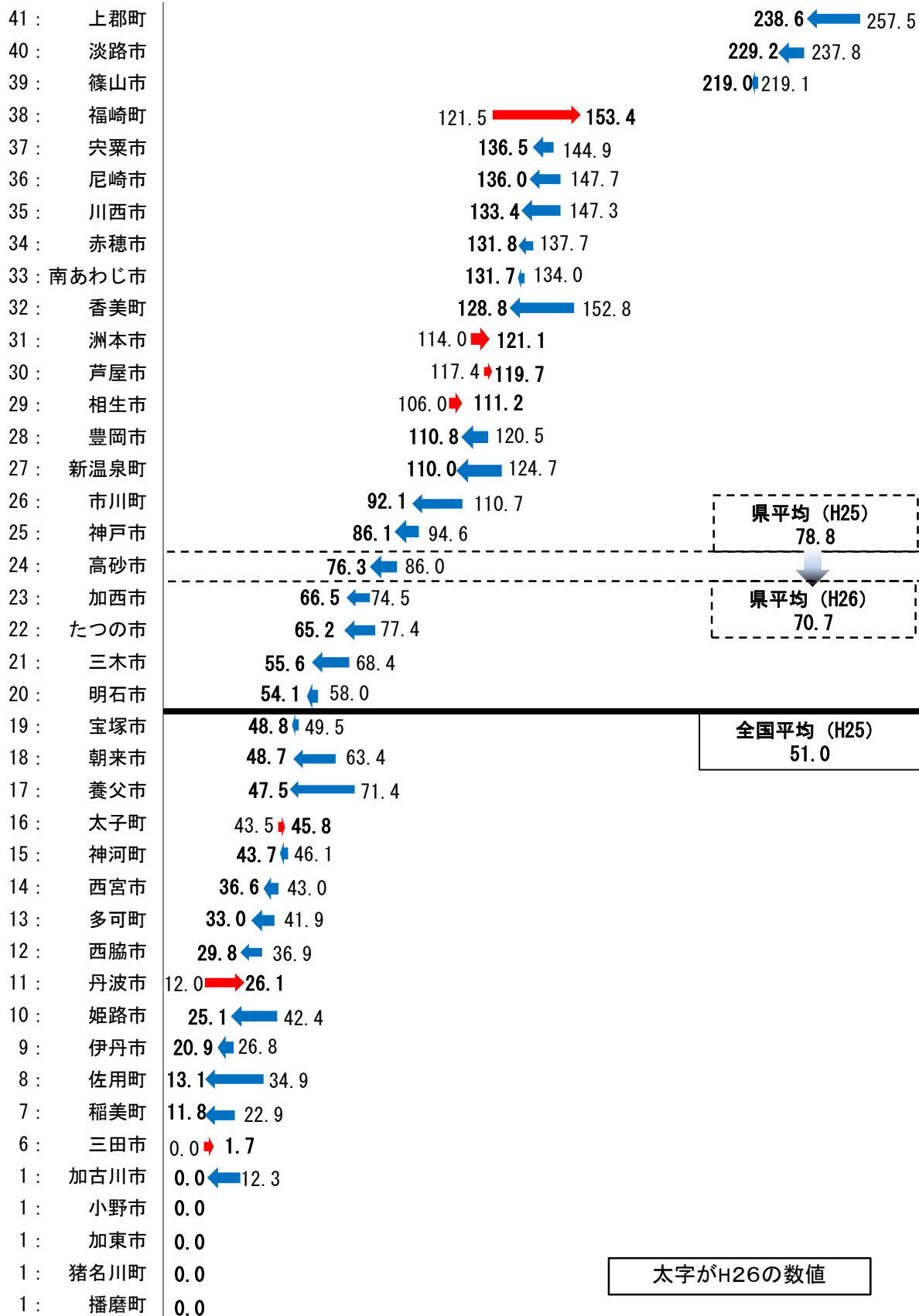
○平成26年度将来負担比率の県内市町平均は70.7%。(H25全国平均は51.0%)  
 ○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)※の団体はない。200%を超える団体は、  
 篠山市(219.0%)、淡路市(229.2%)、上郡町(238.6%)の3市町。0.0%未満の団体  
 は加東市、播磨町など5市町。



※ 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。

将来負担比率の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは34団体(比率に変更ない4団体を含む)、比率が増加したのは7団体  
 ■最も減少したのは、市では養父市(▲23.9%)、町では香美町(▲24.0%)  
 ■最も増加したのは、市では丹波市(14.1%)、町では福崎町(31.9%)

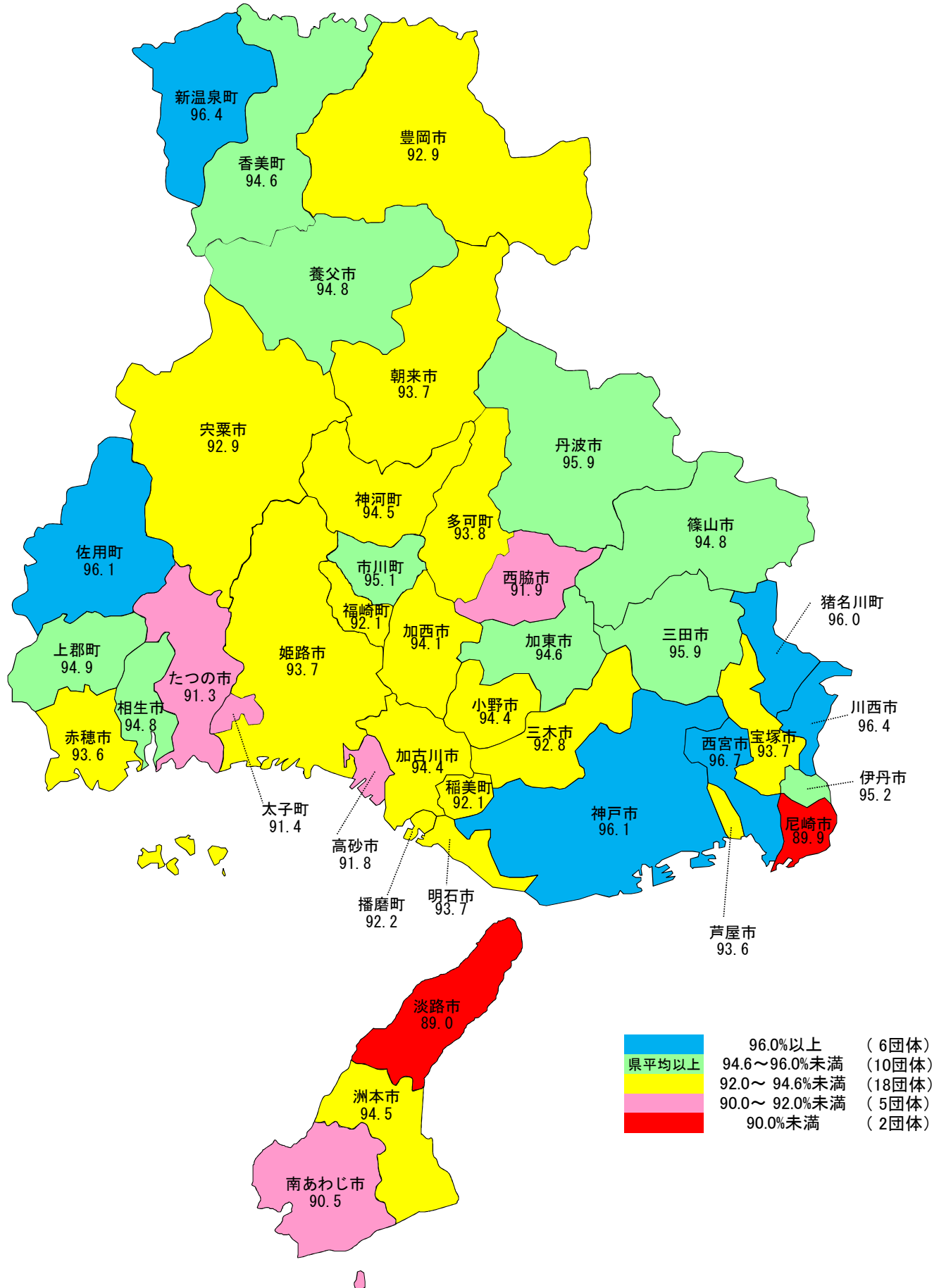


太字がH26の数値

0 30 60 90 120 150 180 210 240 270 (%)

### 平成26年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

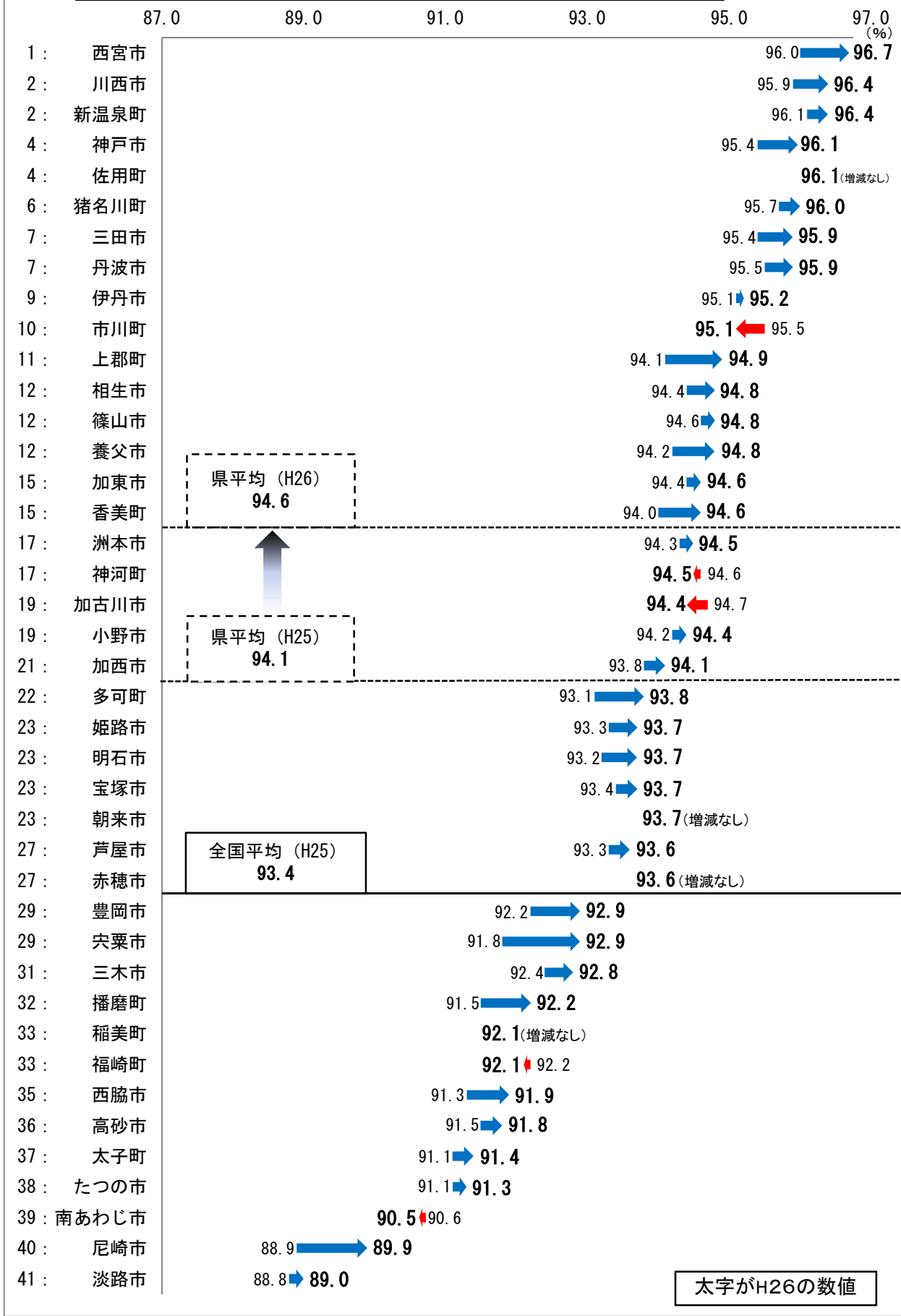
- 徴収率の県平均は94.6% (H25県平均94.1%)
- 県平均を超えているのは16団体(H25県平均を超えていたのは19団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(96.7%)、町では新温泉町(96.4%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では淡路市(89.0%)、町では太子町(91.4%)





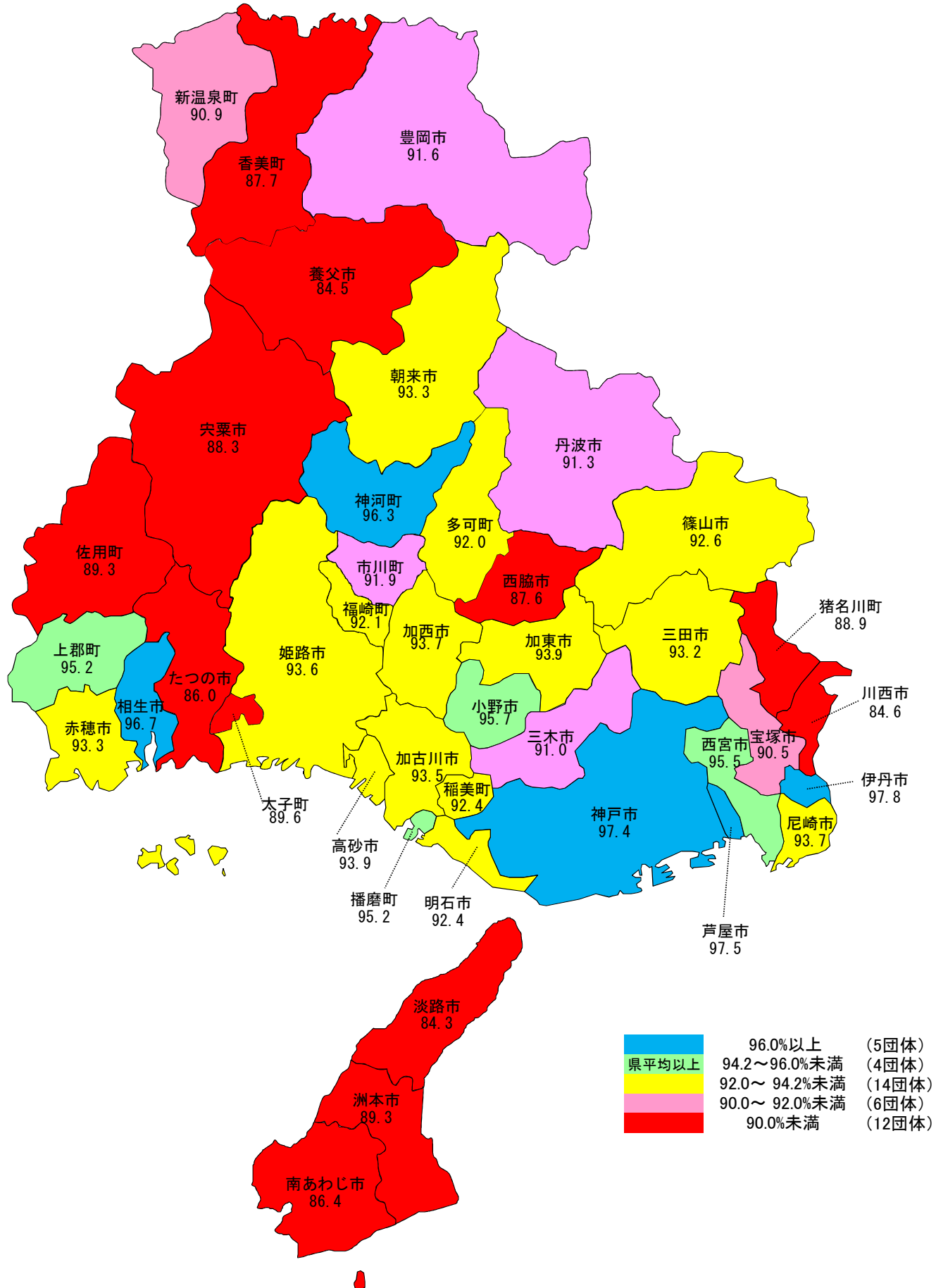
徴収率(個人住民税)の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは5団体、徴収率が増加したのは32団体。  
 ■最も増加したのは宍粟市(1.1%)、最も減少したのは市川町(▲0.4%)。



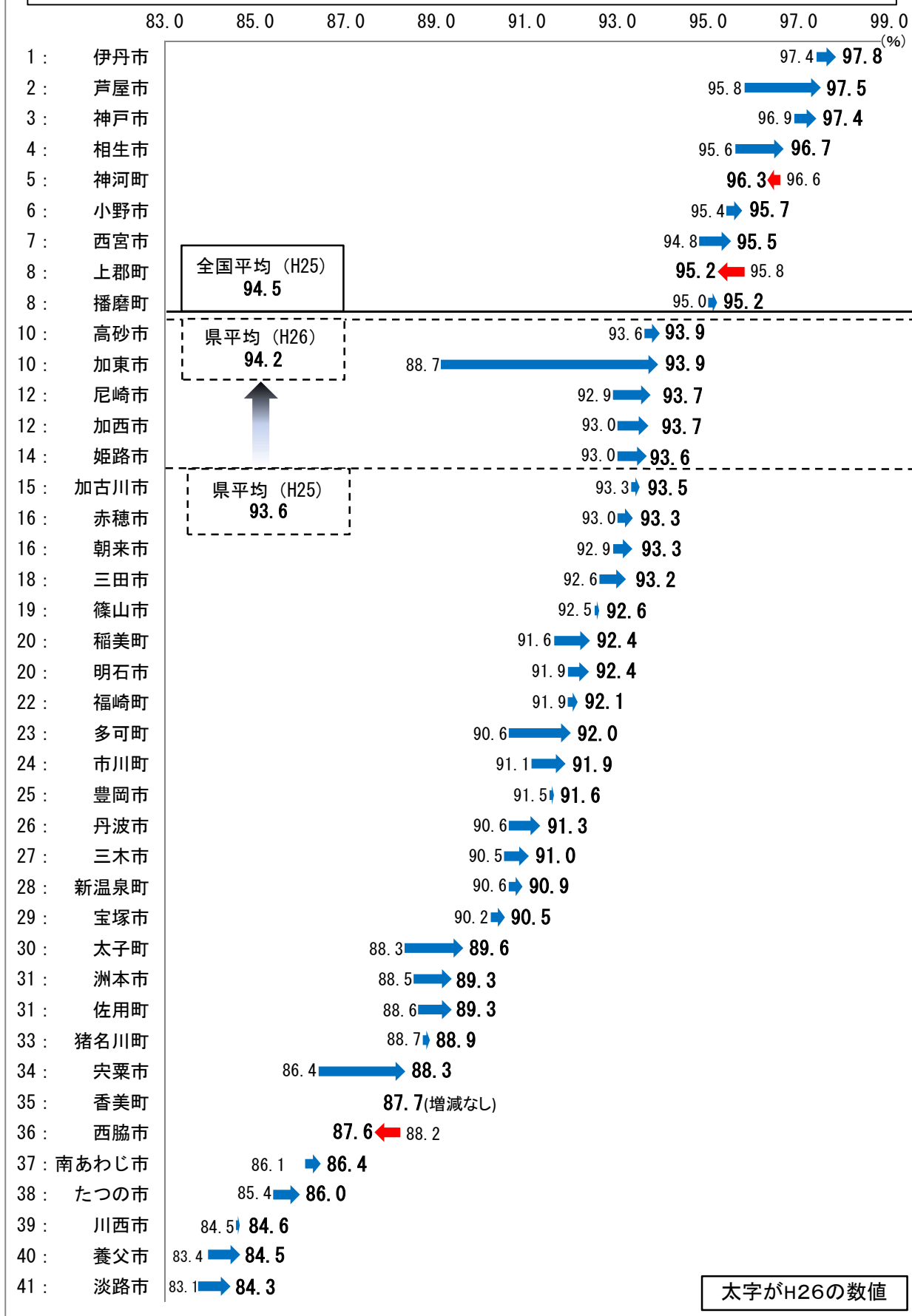
## 平成26年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は94.2% (H25県平均93.6%)
- 県平均を超えているのは9団体(H25県平均を超えていたのは10団体)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(97.8%)、町では神河町(96.3%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では淡路市(84.3%)、町では香美町(87.7%)



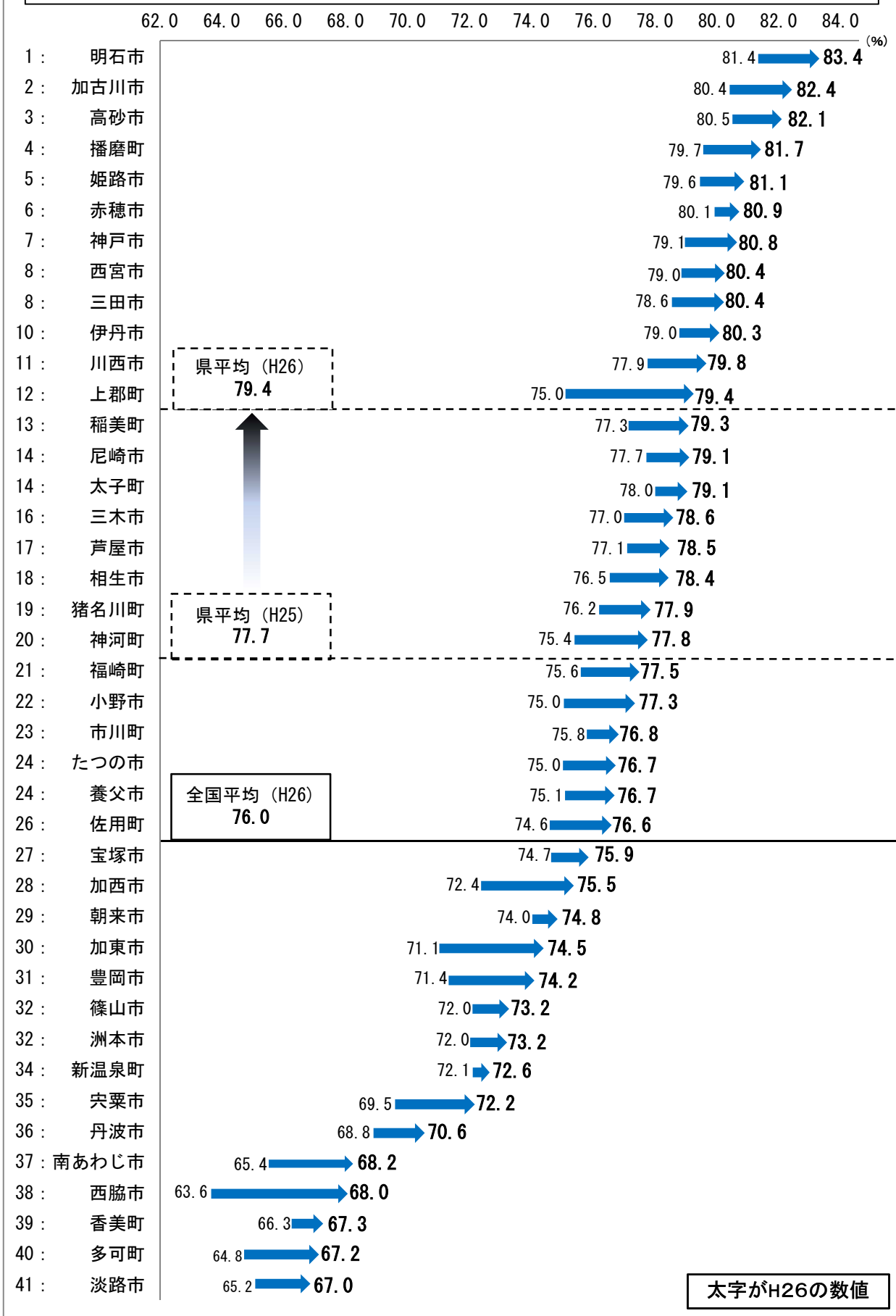
徴収率(固定資産税)の対前年度比較

■前年度から比率が減少したのは3団体、徴収率が増加したのは37団体。  
 ■最も増加したのは加東市(5.2%)、最も減少したのは西脇市(▲0.6%)、上郡町(▲0.6%)。



特別徴収実施率の対前年度比較

■前年度からの比率は、41団体すべてで増加した。  
 ■最も増加したのは、西脇市(4.4%)、上郡町(4.4%)

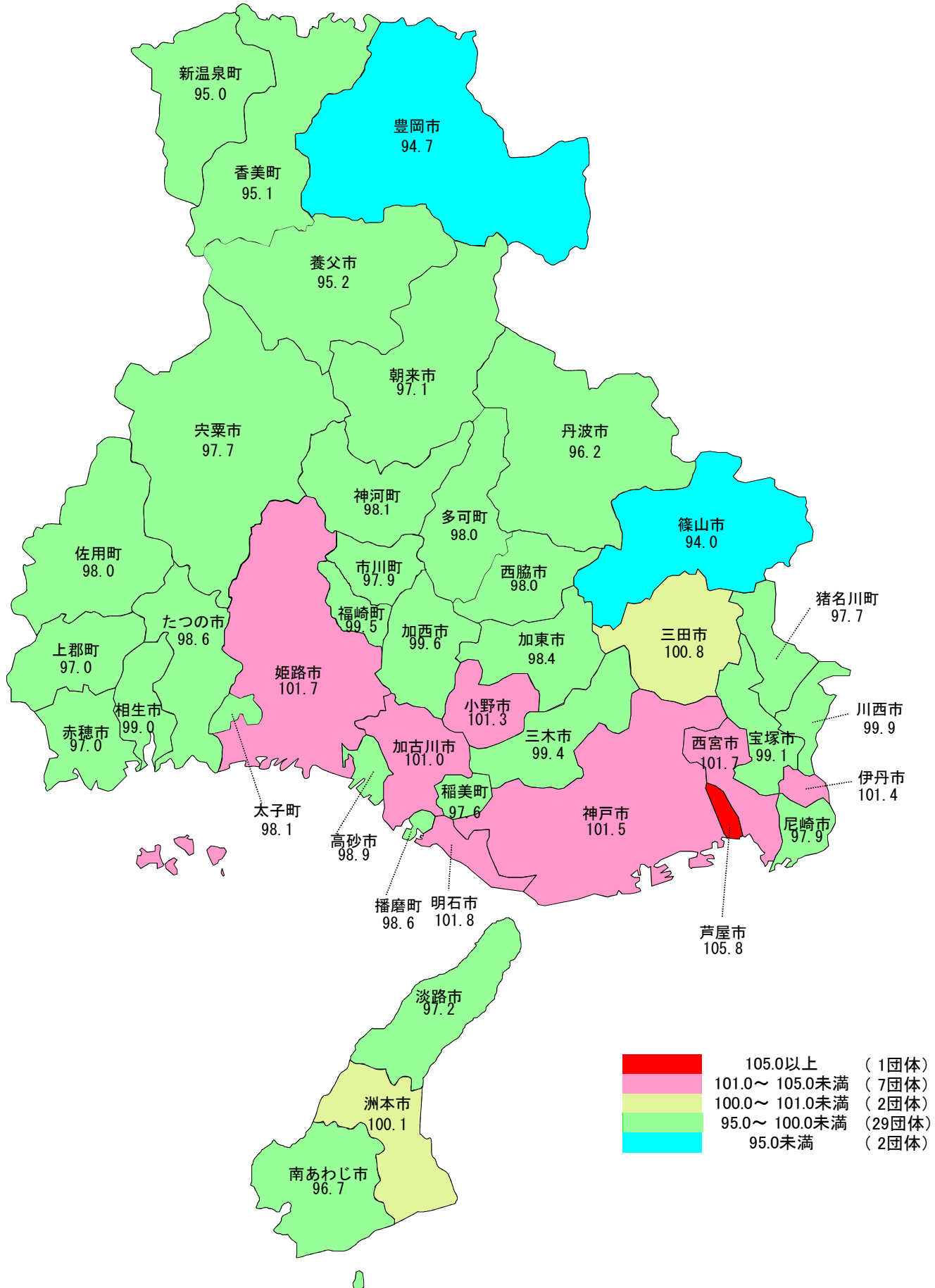


太字がH26の数値

※特別徴収実施率＝給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数／給与所得者の納税義務者数

平成26年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(H26.4.1)

○ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、芦屋市(105.8)、明石市(101.8)など10市町。  
 ○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は篠山市(94.0)、豊岡市(94.7)など31市町。

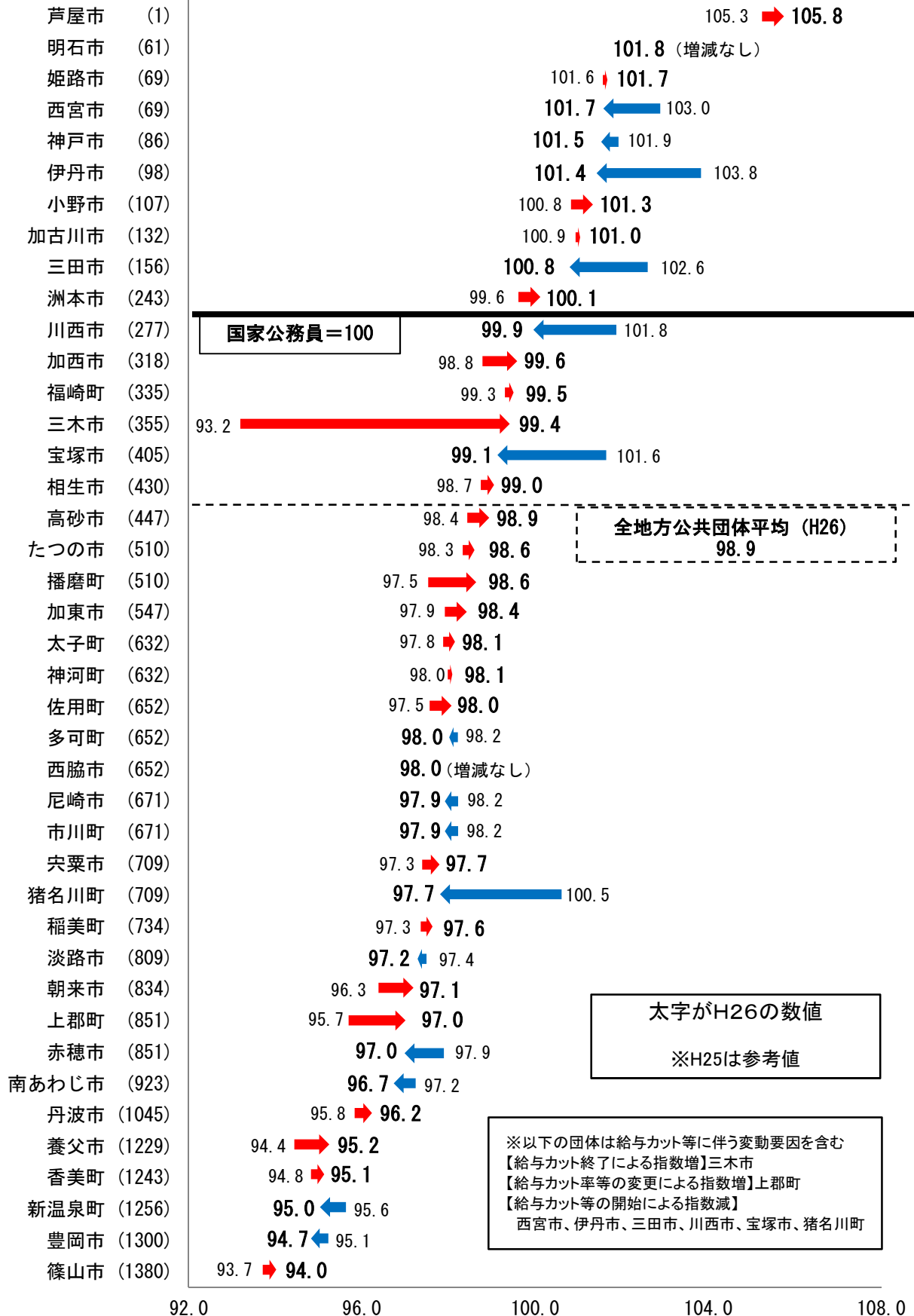


※ ラスパイレス指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

ラスパイルス指数(参考値)の対前年度比較

※ 市町名の後の( )はH26全国順位  
(市区町村の高い順)

■前年度から指数が減少したのは15団体、比率が増加したのは24団体  
 ■100を上回る団体は、前年度の12団体から10団体に2団体減少  
 ■最も増加したのは三木市(6. 2)、最も減少したのは猪名川町(▲2. 8)





平成27年9月  
兵庫県企画県民部企画財政局 市町振興課作成

